



加山興業株式会社

■豊川プラント／豊川営業所

豊川市南千両二丁目1番地

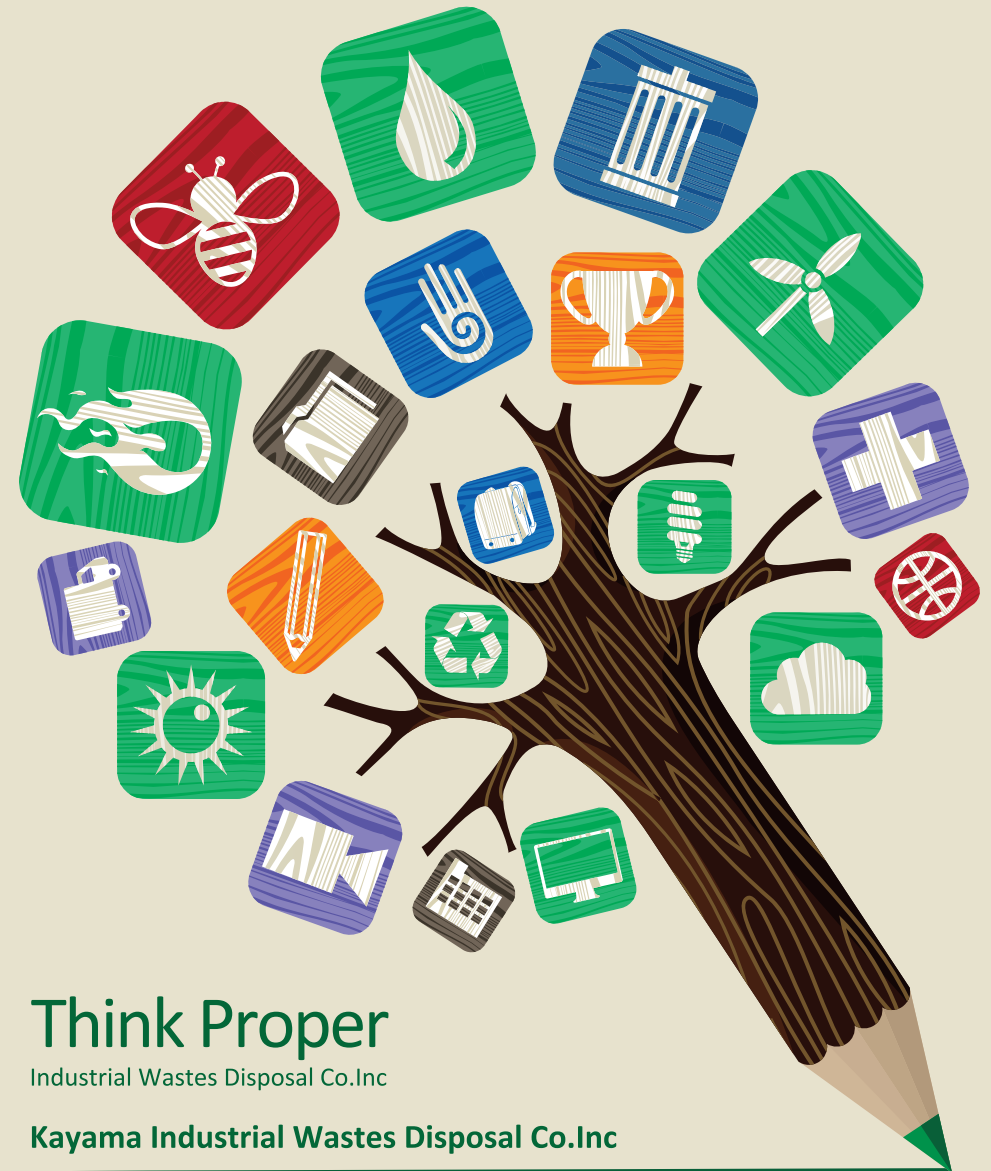
■豊橋営業所

豊橋市南牛川一丁目15番地の10

■岐阜営業所

岐阜市柳ヶ瀬通七丁目9番地1号室

<http://www.kayama-k.co.jp>



Think Proper

Industrial Wastes Disposal Co.Inc

Kayama Industrial Wastes Disposal Co.Inc



Corporate Social Responsibility Report 2014

CONTENTS

- 加山興業について
- 環境とのかかわり
- 地域への取り組み
- 社会とのかかわり
- 社員とのつながり
- 安全衛生への取り組み

加山興業について

Company Outline

会社概要

社名 加山興業 株式会社
 代表取締役 加山 順一郎

本社所在地 愛知県名古屋市熱田区南一番町 15 番 5 号
 豊川営業所 愛知県豊川市南千両二丁目 1 番地
 豊橋営業所 愛知県豊橋市南牛川一丁目 15 番地の 10
 岐阜営業所 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通七丁目 9 番地 1 号室

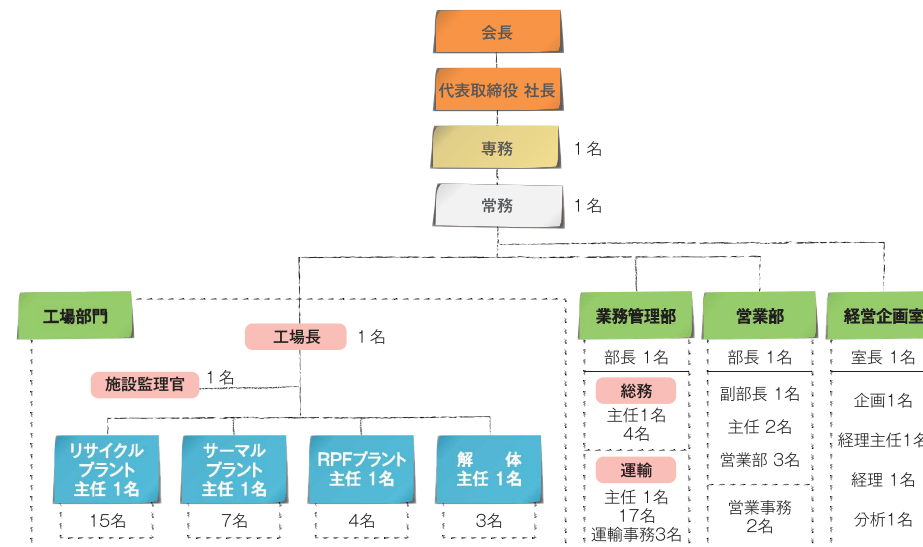
事業内容
 産業廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物処分業
 特別管理産業廃棄物収集運搬業
 特別管理産業廃棄物処分業
 一般廃棄物収集運搬業・処分業
 解体業

資本金 5000 万円
 従業員数 84 名

取引先
 豊川市／豊川市民病院／豊橋市／愛知トヨタ自動車株式会社／株式会社 IHI／オーエスジー株式会社
 王子製紙株式会社／積水ハウス株式会社／竹本油脂株式会社／津田工業株式会社／株式会社東海理化
 トビー工業株式会社／トヨタ紡織株式会社／株式会社ニデック／日本車輛製造株式会社
 パナソニックストレージバッテリー株式会社／イオンリテール株式会社／コニカミノルタ株式会社
 横浜ゴム株式会社／三菱自動車株式会社／住友林業株式会社／ヤマハ発動機株式会社 その他

Organizational Chart

会社組織図



Top message

ト ッ プ メ ッ セ ー ジ

加山興業株式会社は「とっても頑固なゴミ屋さん!」をキャッチフレーズに53年に亘り業務させていただいております。とっても頑固とは、法令遵守は当たり前!徹底的にリサイクルにこだわる!時にはお客様にも意見させていただき、安易な処理に頼らず、とことんまでリサイクルを迫ることです。

今期も前期に引き続き、「廃棄物処理に関するお客様の「不」を取り除き、お客様、地域に必要なとされる企業を目指す」をテーマに一年間業務をさせていただきました。

今期の主な活動としましては、お客様の待機時間を短縮させていただく為に、受け入れヤードの増設、ミツバプロジェクトの始動、小学校における環境教育の実施等、詳細につきましてはテーマごとに一年間の業務実績、活動内容を記載させていただきました。ご確認いただければ幸いです。

廃棄物処理、環境問題は日本だけの問題ではなく、グローバルな視点に立って考えなければなりません。新興国では廃棄物処理が問題視されはじめ、日本の処理技術、システムを導入していこうという動きがあります。我々の廃棄物処理業も少しずつではありますが、海外に進出していく時代になってまいりました。当社も地球環境保全により一層貢献できるよう処理技術をさらに磨き、静脈ビジネスの新たなモデルを追求してまいります。

最後になりますがお客様、地域の皆様に必要とされる、また愛される企業を目指し誠心誠意努めてまいります。

今後も皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

加山興業株式会社
代表取締役 加山 順一郎

History

加 山 興 業 の あ ゆ み

1951	加山勇雄が警察官を退官し創業		
1961	加山興業株式会社設立	2004	解体業の新規事業開始
1973	加山勇雄が病气により 加山昌弘社長就任	2006	R P F プラント施工
1983	選別・破砕プラント施工	2007	風力発電設置
1984	最終処分場許可取得【愛知県7カ所】	2008	デジタコ導入・WEBカメラ設置 車両GPS導入
1990	焼却プラント施工	2010	加山順一郎代表取締役就任 加山昌弘会長就任 フロン類破壊業取得【焼却付属設備】
1995	乾燥許可取得【焼却付属設備】	2012	ゴム再生事業開始 【マテリアル&サーマル】
2000	蛍光灯処理プラント施工	2013	太陽光発電設置
2002	リサイクルプラント施工	2014	リサイクルプラント イーストヤード施工 太陽光発電設置 ミツバプロジェクト始動

環 境 と の か か わ り

Environmental Data

環 境 デ ー タ

●焼却炉排ガスデータ

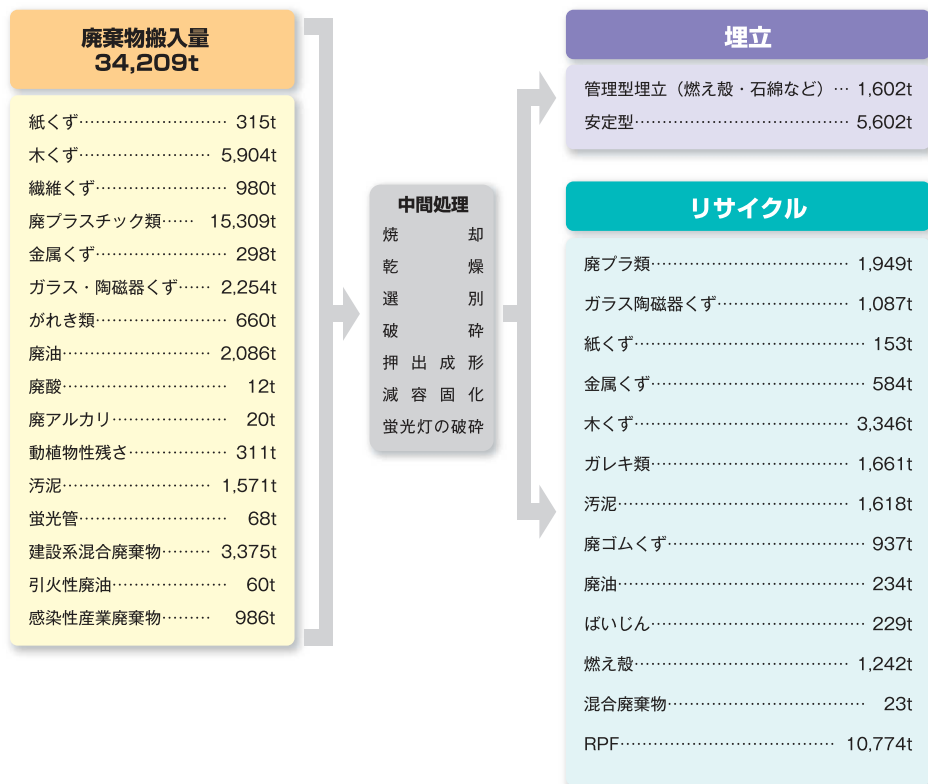
測定項目	測定値		単 位
	平成25年9月17日	平成26年3月18日	
ばいじん	<0.002	<0.002	g/m ³ N
硫酸酸化物	8.7	10	mg/m ³ N
窒素酸化物	130	170	ppm
塩化水素	17	34	mg/m ³ N
CO	0	0	ppm
ダイオキシン	0.32	-	ng-TEQ/m ³ N

●焼却炉燃え殻データ

測定項目	GB4000 (H.26.5.15採取)	GB12000 (H.26.5.15採取)	単 位
ダイオキシン	1.2	0.81	ug-TEQ/g

測定項目	GB4000 (採取日)	GB12000 (採取日)	単 位
アルキル水銀化合物	<0.0005 (H.25.12.25) <0.0005 (H.26.2.4)	<0.0005 (H.25.12.25) <0.0005 (H.26.2.4)	mg/リットル
水銀又はその化合物	ND<0.0005 (H.25.12.25) ND<0.0005 (H.26.2.4)	ND<0.0005 (H.25.12.25) ND<0.0005 (H.26.2.4)	mg/リットル
カドミウム	<0.0005 (H.25.12.25) <0.0005 (H.26.2.4)	<0.0005 (H.25.12.25) <0.0005 (H.26.2.4)	mg/リットル
鉛	<0.01 (H.25.12.25) <0.04 (H.26.2.4)	<0.01 (H.25.12.25) <0.01 (H.26.2.4)	mg/リットル
六価クロム	0.07 (H.25.12.25) 0.04 (H.26.2.4)	0.05 (H.25.12.25) 0.04 (H.26.2.4)	mg/リットル
砒素又はその化合物	<0.01 (H.25.12.25) <0.01 (H.26.2.4)	<0.01 (H.25.12.25) <0.01 (H.26.2.4)	mg/リットル
PCB	<0.0005 (H.25.12.25) <0.0005 (H.26.2.4)	<0.0005 (H.25.12.25) <0.0005 (H.26.2.4)	mg/リットル
セレン又はその化合物	<0.01 (H.25.12.25) <0.01 (H.26.2.4)	<0.01 (H.25.12.25) <0.01 (H.26.2.4)	mg/リットル
熱灼減量	5.6 (H.25.9.23) 6.7 (H.25.12.25) 9.5 (H.26.6.30)	7.3 (H.25.9.23) 6.5 (H.26.5.15)	%

●廃棄物量



IMS & External examination

IMS・外部審査

●マネジメントシステムの統合（IMSマネジメント）

2005年3月にISO14001を、2010年3月にOHSAS18001を認証取得し、それぞれ活動して参りましたが、2013年1月18日に（株）日本環境認証機構の審査を受けた際にISO14001とOHSAS18001のマネジメントシステムを統合いたしました。



●環境目標と結果

目 的	目 標	50期 (2010.9～ 2011.8)	51期 (2011.9～ 2012.8)	52期 (2012.9～ 2013.8)	53期 (2013.9～ 2014.8)	目標値 54期	進捗評価
廃棄物の入荷量を増加させる	廃棄物搬入量	30,702t	35,804t	37,820t	40,286t	50,000t/年	○
現場力強化に努める	選別 リサイクル率	81.6%	82.0%	82.3%	82.6%	85.0%	△
	RPF生産量	721t	781t	849t	10,744t	14,400t/月	◎
	焼却炉投入量	—	—	4,373t	4,413t	4,300t/年	◎
	ゴミチップ生産量	—	—	300t	772.2t	1,200t/年	○
労働安全リスク低減に努める	教育訓練の実施 作業手順書の充実	—	—	8件	9件	10件	○

×:達成率80%未満 △:達成率80～100% ○:達成率100% ◎:達成率100%以上

●外部審査結果/次期目標

2005年3月にISO14001を、2010年3月にOHSAS18001を認証取得し、今回の審査は1年次サーベイランス審査として実施しました。（2014.2.18～2.19）今回の審査も修正及び是正処置を要求する不適合はなく、引き続き認証の維持の判断をいただきました。審査機関は株式会社日本環境認証機構（JACO）に依頼しています。また今回の審査では下記の3点のパフォーマンス評価をいただきました。

- ① 毎週火曜日に産業廃棄物知識に関連する勉強会を、木曜日に労働安全衛生関連の勉強会を開始。
全社員に対し教育訓練の展開・充実がみられる点。
- ② 10月の休業災害発生以降、以前からの改善課題であった不安全箇所に対する改善要望等も提出され、
駐車場から工場内への進入路の決定や改善が実施されている点。
- ③ 近隣の小学校を対象とした環境授業の実施やゴミ拾いアプリ『ピリカ』への協賛を行う等、
地域とのコミュニケーション活動の積極的な取組。

実施月	審査の種類	不適合B	不適合A	パフォーマンス評価	改善の余地
2010.2	2年次 サーベイランス審査	なし	なし	5件	2件
2011.1	更新審査	なし	なし	3件	3件
2012.2	1年次 サーベイランス審査	なし	なし	5件	3件
2013.1	更新審査 (OHSASと統合のため繰上げ更新)	なし	なし	4件	3件
2014.2	1年次 サーベイランス審査	なし	なし	3件	2件

Waste incineration plant 焼却施設を利用したフロン破壊処理の導入

2010年4月にフロン類破壊の許可を取得しました。フロンのみを専属で破壊するよりも既存施設の稼働中にフロンを破壊出来る事も地球全体としてのエネルギーの削減に寄与しています。

●フロン破壊によるCO₂削減量報告

弊社既存施設焼却プラントでのフロン破壊も温暖化ガス削減となりCO₂量の削減に貢献しております。

期 間	フロン破壊量 (kg)	CO ₂ 削減量 (t)
51期2011年9月～2012年8月	448	2,240
52期2012年9月～2013年8月	627	3,135
53期2013年9月～2014年8月	750	3,750



Renewable energy 小型風力及び太陽光による発電と電力利用

2007年に設置し現在月間約10,000kwを発電し夜間電力へ利用しています。

●風力発電報告書

弊社PRFプラント屋上に小柄ながらも3基の風車が稼働しております。発電された電力は夜間照明に使用しCO₂量の削減に貢献しております。

	発電量	CO ₂ 削減量
2013年度	2,893kW	1,391kg
2014年度	3,255kW	1,563kg
全期間	6,148kW	2,954kg



●太陽光発電報告書

弊社リサイクルプラント、新倉庫の屋上に太陽光発電が稼働しております。

	発電量	CO ₂ 削減量
2013年度	27,369kW	1,228kg
2014年度	111,616kW	5,011kg
全期間	138,985kW	6,239kg

(小数点切捨)



Carbon offset

カーボンオフセットへの取り組み

カーボンオフセットとは、日常生活や経済活動によって排出される二酸化炭素(CO₂)を、何らかのカタチで相殺(オフセット)することです。当社では、2010年1月からカーボンフリーコンサルティング社と契約を締結し、植樹貢献事業と人道支援を絡めたWFP FOOD FOR CARBONFREE PILOT PROJECTに参画しています。WFPが進めているこのプロジェクトは「温暖化ガス削減のための食料支援」を目的として現在インドネシア東部地域で活動しています。貧困による食糧不足の状態にあるこの地で、カシュナッツやジャトロファといった環境性・換金性の高い植物の植林事業を支援することで温暖化防止への貢献とともに、貧困地域が永続的に経済的に自立することを目指しています。



Medecins Sans Frontiers

国境なき医師団への寄付

弊社では昨年10月より「国境なき医師団」の活動に賛同しフィールドパートナーとして微力ながら応援させて頂いております。世界では紛争で家や家族を失い傷ついた人々があるべき医療を受けられない状況があります。世界平和を願い、環境を考え、行動する事業活動をしていきたいと思っております。

LED lighting

LED照明の導入

平成24年3月に本社事務所、選別ライン、RPFプラントにLED照明を導入し、省電力化を推進しております。今後も順次施設照明のLED化をはかります。

Volunteer patrol

不法投棄物撤去作業／ボランティアパトロール

愛知県産業廃棄物協会による不法投棄廃棄物の撤去活動が行われました。この活動は毎年行われ、愛知県全域で不法投棄防止パトロールを実施した際に発見された廃棄物を中心に撤去、回収をおこなったものです。

PET bottle cap

ペットキャップの回収拠点

豊川工場はペットキャップの回収拠点となっております。回収拠点だけではなく自社でも回収活動に取り組んでおり、集められたキャップはワクチンの購入費となり寄付させていただいております。



地域への取り組み

Show & Event

展示会・イベントへの参加

名古屋商工会議所主催の「メッセナゴヤ2014」をはじめ、地域での展示会・イベントにも積極的に参加しています。多くの方たちに弊社の取り組みを知っていただく場となっています。

School education

地元小学校における環境教育

毎年継続的に地域の学校へ環境教育の出前授業にお伺いさせていただいています。

	訪 問	課 題
2014年7月9日	豊川市H小学校	「家庭から出るゴミ」
2014年6月17日	豊川市T小学校	「家庭から出るゴミ」
2013年11月20日	豊川市T小学校	「家庭から出るゴミ」



Compliance

コンプライアンス

◎地域へのコンプライアンス

悪臭防止 … 携帯式臭気測定器を使用し敷地境界、近隣民家周辺を毎日測定しております。
粉塵防止 … 防護、粉塵対策ネットやグリーンベルトにより対策を進めております。

◎企業倫理ヘルプラインの設置

お客様や従業員がコンプライアンス違反などの倫理的問題のある行為を発見した場合の対応窓口を設置しております。外部委託先であるブルーエコノミー研究所へご提出いただくと適切な処置をとるべく倫理委員会が対応を協議いたします。

Cleanup activity

地域清掃活動

平成23年から、毎日地域のごみ拾いを行い、環境汚染と景観悪化の防止に努めてまいりました。この活動を通じ、地域の方との交流を深め、地域に根ざした環境保全活動を行っております。



ごみ拾いアプリ「ピリカ」への協賛

当社は株式会社ピリカにより開発されたフリーアプリ「ピリカ」に協賛しています。「ピリカ」とは世界53ヶ国、50,000ヶ所以上で利用されている世界最大規模のごみ拾いアプリです。このアプリを通じて投稿したごみ拾い時の写真はリアルタイムでネット上の地図やタイムラインに反映され情報を共有することができます。また、他のユーザーの行動に対して感謝の気持ちを届けることもできます。当社では特定地域のごみ拾い活動を可視化できる「ピリカウィジェット」をホームページ内に設置しており、これにより豊川市内のごみ拾い活動がリアルタイムでご覧いただけるようになりました。



社会とのかかわり

Reconstruction assistance

東日本大震災復興支援

被災地の一日も早い復興を心より祈念するとともに、加山興業株式会社は、全力を挙げて支援してまいります。弊社も廃棄物運搬車両にて支援させていただいております。

Factory tour

工場見学の受け入れ

毎年継続的に地域の皆様、関係者の皆様を対象に施設・工場の見学会の受け入れを実施しています。弊社の安全への取り組みと環境への配慮にご理解をいただいております。



Dispatch of instructor

インストラクターの派遣

◎産業廃棄物振興センター

25年11月22日 滋賀県
26年 1月30日 大阪市
26年 1月31日 名古屋市
26年 2月 4日 処理業者、運用事例発表会



ミツバチプロジェクト(養蜂)の開始

これまで弊社はNPO法人マルハチプロジェクトを応援して来ましたが、この度、弊社内(豊川プラント)でもミツバチプロジェクトとして養蜂をスタート致しました。加山ファームを併設し環境緑化と共に生態保全への取り組みにもチャレンジしています。

※2014年7月にはハチミツを採取し成分検査を実施。生育環境であるプラント周辺環境がグリーンであることが実証されました。



浜松東三河フェニックスへのサポート

バスケットボール・bjリーグの地元チーム「浜松東三河フェニックス」のオフィシャルスポンサーとしてチームをサポートしています。2014年11月には弊社の冠スポンサーのゲームも開催いたしました。



社員とのつながり

Commendation

表彰制度

あらゆる表彰制度によって、社員のモチベーションアップに努めています。



部 門	項 目	内 容
全 体	お褒めの言葉賞	お客様からお褒めのことはいただいた社員に対して贈られます。
	コストダイエツト賞	業務改善等を自主的に提案し、コスト削減に努めた職員に対して贈られます。
	ハッピーバースデー賞	誕生日の社員に贈られます。
	緑の下の力持ち賞	入社10年以降5年ごとの節目に社員に対して贈られます。
現 場	目標達成賞	四半期月の目標合計(3ヶ月分)が達成した部門へ贈られます。
解 体	無事故無災害賞	解体業務全般での無事故、無傷、無災害に対して贈られます。
営 業	無事故無傷賞	営業車両を無事故、無傷で乗り続けられたら贈られます。
運 輸	安全運転ランキング賞	デジタコ安全運転ランキングの満点のドライバーへ贈られます。
事 務	ワンコール賞	1ヶ月の間で会社にかかってきた電話を全てワンコール内で取ることが出来れば部署へ贈られます。

Employee training

社員研修の実施

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)は、たびたび改正され、複雑なものとなってきています。その他、リサイクルや地球温暖化対策などの法律が次々と施行されています。当社は、廃棄物のプロとして、営業部や収集ドライバーがお客様へ情報を提供できるよう、社内勉強会を実施しています。講師になるのは各部署の先輩社員ですが、教えることによって講師自身の成長にもつながっています。その他外部講習会などにも積極的に参加しスキルアップを図っております。



安全衛生への取り組み

Safety training program

安全講習の実施

初任教育において、事故防止全般に対しての心構えやプロドライバーとしての「思いやり運転」を懇切に説明して意識付けを図るとともに、具体的事例集等により廃棄物運搬の固有の事故から一般的多発事故までその原因、防止策に関して徹底教育します。



An alcoholic checker's アルコールチェッカーの導入

高性能アルコール検知器により、出社時は運転に携わる社員全員がチェックを行うことにより万全の体制で飲酒運転撲滅に取り組んでいます。

Safety training program 自身の応急救護と人命救助

弊社の運搬及び営業車両へは応急救護セットを積載しております。自身の事故もですが他者の事故などに対しても人命救助を最優先に考えて行動出来るように心掛けております。弊社は廃棄物回収業務という職務から回収現場では蜂による被害もあります。ボイズンリムーバーなどによる初期処置にも対応したいと考えております。

AED

AED講習の実施

社内での万一の場合はもちろん、他者の事故と遭遇した際にも社員一人一人が対処出来るよう、AED講習会を実施しました。



